

システムデザイン学部・システムデザイン研究科ビジョン

高度システム化技術の研究拠点形成と課題解決能力を有した人材育成

高度な要素技術開発からシステム化に至る科学技術の創出を通じ、刻々と変化する社会・環境に柔軟に対応する課題解決能力を有する人材を育成することで東京のみならず世界に広く貢献します。

戦略1 人と調和する高度システムや技術の創出

(1) 人を中心とした安全安心なシステムの創出

システムとは複数の要素を組合せて機能を実現するものであり、これに接する人や社会の課題を取込んだ安心安全なシステム創出が今後ますます重要となります。モノづくりだけでなく、人の感性に響くサービス等のコトづくりも含めた研究の推進を通じて先端・高度な技術の創出に取り組めます。

(2) 共同研究を通じた検証の推進と研究成果の還元

産学公連携の拠点として、産業界や公共機関と連携した共同研究を通じて実践的な研究成果の検証を推進し、研究成果を広く社会に還元します。そのような実践的な課題解決に学生が携わることは教育効果を高めることにもつながります。さらに卒業生や教員が起業することへの支援に取り組み、大学発の研究成果を基盤とする起業を目指します。

(3) 国際的な研究者ネットワークの構築

システム化技術を通じた課題解決は東京に留まるものではなく、世界に派生することが期待されます。そのために研究成果の積極的な発信に努めるとともに、教員・学生の交流を進めることで国際的な研究者ネットワーク構築を推進します。

戦略2 高度な専門性と柔軟な課題解決能力を有する人材の育成

(1) 分野横断教育の推進

学部内の各分野に関する高度な専門教育に加え、学科をまたがった分野横断教育を推進することで柔軟な発想能力の育成に取り組むとともに、文系学部を含めた全学連携を進めることでさらに分野横断教育を深化させます。また、他機関及び世界と連携した教育を推進します。

(2) 柔軟な課題解決能力の育成

課題解決能力育成のため、課題の明細化（ブレイクダウン）から統合化（インテグレーション）に至る道筋を繰り返し学習することでシステムデザイン力の涵養に努めます。その際、PBL（Project-Based Learning、課題解決型学習）を通じた実践教育を積極的に取り入れます。目指すのは知性と感性をもった高度ジェネラリストの育成です。

(3) 高いコミュニケーション能力の育成

前述のPBLや国際的なネットワークを活用した交流・インターンシップ・留学等を通じ、日本語以外の言語での情報発信力を含めた豊かな表現能力を持った人材の育成に努めます。

戦略3 実社会との接点を通じた諸活動の推進

(1) アウトリーチ活動の推進

教育研究の場を大学内に留めず、近隣の小中学校及び高校で模擬授業を提供する等のアウトリーチ活動を通じ、次世代の人材育成を推進します。

(2) 新たなポータル機能の推進

地域社会に向けたポータル機能としてキャンパス内に資料館的な場所を設け、一般の方向けの啓発活動や産学共創のための拠点とします。併せて、一般市民を含めた新たな学びの場を提供し、世代をまたいだ教育を推進することで各世代の生活の充実や社会での活躍を促進します。